

## 第3回美ヶ原トレイルラン&amp;ウォーク in ながわ 大会報告書

1. 開催日 平成25年8月31日(土) 天気:くもり
2. スタート時間 70km 午前4時 ブランシュたかやまスキー場スタート  
35km 午前10時 長和町役場和田庁舎スタート  
8km 午前10時 エコーバレースキー場第2駐車場スタート

## 3. 参加者概要

クラス	エントリー	出走者	完走者	完走率
70km	604名	549名	357名	65.0%
35km	555名	490名	341名	69.6%
8km ラン	137名	89名	80名	89.9%
8km ウォーク		32名	32名	100.0%
合計	1,296名	1,160名	810名	69.8%

## 4. 大会結果

クラス	制限時間	男子総合優勝	女子総合優勝
70km	15時間	8時間41分40秒	10時間57分51秒
35km	9時間	4時間26分53秒	5時間57分23秒
8km ラン	4時間	43分12秒	52分56秒

## 5. 関係機関

長野県自然保護課、上小地方事務所、諏訪地方事務所、近隣市町村  
東信・中信・南信各森林管理署、霧ヶ峰自然環境保全協議会、小和田牧野農業協同組合、下桑原牧野農業協同組合、物見石牧野農業協同組合、霧ヶ峰高原牧野農業協同組合、柏原財産区、北大塩財産区、美ヶ原自然環境保全協議会、美ヶ原牧場畜産農業協同組合、東京電力(株)千曲川電力所、上田警察署、依田窪南部消防署、依田窪病院

## 6. スタッフ

長和町 146名(公募ボランティア、役場ボランティア、安協、JA他)  
フィールズ社 約60名

## 7. エイタステーション

6ヶ所(和田峠、扉峠、美ヶ原山本小屋、和田中学校、長門牧場、大門峠)

8. モニタリング 【事前モニタリング】

日程	モニタリングルート	参加者
8月27日(火)	①美ヶ原～物見石山～野々入 ②美ヶ原～茶白山～三峰山～和田峠	上小地方事務所環境課、長和町、長和町観光協会 計6名
8月28日(水)	①ブランシュたかやまスキー場～男女倉山～和田峠 ②ブランシュたかやまスキー場～殿城山～大門峠～本沢	上小地方事務所環境課、長和町、長和町観光協会 計7名

【事後モニタリング】

日程	モニタリングルート	参加者
9月6日(金)	①美ヶ原～物見石山～野々入 ②美ヶ原～茶白山～三峰山～和田峠	上小地方事務所環境課、長和町、長和町観光協会 計5名
9月9日(月)	①ブランシュたかやまスキー場～男女倉山～和田峠 ②ブランシュたかやまスキー場～殿城山～大門峠～本沢	上小地方事務所環境課、長和町、長和町観光協会 計6名

9. 所感

3回目を迎える本大会は、エントリー数が1300人に迫る、全国でも屈指の規模の大会となりました。

晴天に恵まれ過ぎた昨年とは違い、今年は適度な曇り模様など、天候による選手への負担も少なく、また、制限時間が1時間延びたことなどから、60%を超える高い完走率となりました。

大会終了後、各方面の関係者のお話を伺う限りでは、特に事故やトラブルもなく無事終了できたという印象です。

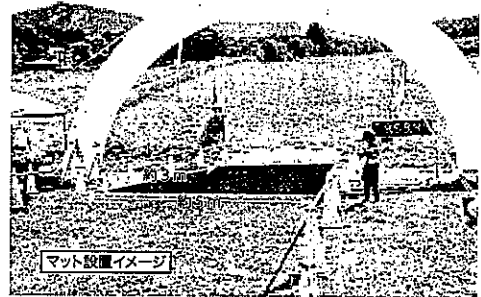
## 第3回美ヶ原トレイルラン&ウォーク in ながわ大会開催に伴う環境資源への影響対策について

長和町、信州・長和町観光協会

第3回美ヶ原トレイルラン&ウォーク in ながわ大会開催による自然環境への負荷を軽減するため、下記の対策を行います。

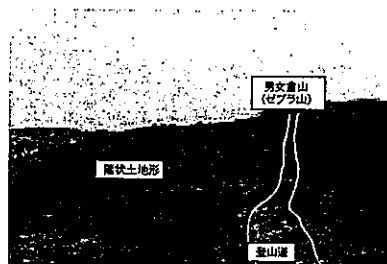
### ○外来種の侵入防止について

- ・大会の前に使用シューズを洗って、泥などを落としてきてもらうよう、事前に選手に依頼する。
- ・スタート地点に種子や土を落とすためのマット等を設置し、選手にはその上を通過してもらう。



### ○階状土について

今回のコース上にある、南北耳から男女倉山（ゼブラ山）にかけての階状土地形区間の走行については、既存の登山ルートから外へはみ出さないよう、周知徹底する。



### ○周知方法について

- ・前日の選手ミーティングで選手に周知する。
- ・写真などを添えた資料を作成し、ホームページ、大会プログラムなどに掲載し、この大会のコース上には「階状土」等の貴重な自然資源があることを認識してもらった中で大会に参加してもらう。

### ○環境への影響調査

- ・事前と事後の定点観測を行うため、ルートが狭いなど特定の場所を中心に選定し、大会の前後を比較する。
- ・詳細については、県環境保全研究所研究員の意見を聞き決定する。

以上、本大会は貴重な環境の中で行われている、という意識を持ってもらえるよう参加者、応援者に PR していきたいと思ひます。

### 【参考】美ヶ原台上のアースハンモック（構造土）について

- ・従来通り、歩行区間であることを選手に周知徹底する。
- ・アースハンモックが分布している塩くれ場～茶白山の牧場内については、追い越し禁止、ルートからはみ出さないよう、改めて周知徹底する。
- ・アースハンモック（構造土）がコースの脇に迫っているところについては、注意標識やスタッフ配置等により規制をして、選手へ注意喚起をする。
- ・詳細については、関係機関と協議する。



(別紙)

環境への影響調査について

○男女倉山（ゼブラ山）の階状土

男女倉山（ゼブラ山）のぼり区間1箇所にて定点観測点を設け、大会前後の様子が比較できるように写真撮影と、目視により影響を調査する。

○美ヶ原のアースハンモック

塩くれ場から茶白山の間、約1kmの区間で3箇所定点観測点を設け、大会前後の様子が比較できるように写真撮影と、目視により影響を調査する。

○今回の調査結果を考慮し、もし必要があれば来年度以降の影響調査内容について改善や見直しも検討する。

○誘導、注意喚起などの設置方法については、県自然保護課と協議の上設置する。

# 美ヶ原トレイルラン&ウォーク in ながわ大会

## 参加選手のみなさんへ

### ご出発の前に

本大会のコース上にある霧ヶ峰や美ヶ原は、古くから放牧や採草のための草原が広がっていましたが、生活様式や環境の変化により森林化が進むとともに、観光客など人の往来の増加により外来植物が繁殖し、それが本来の在来植生を乱しつつあります。そのため、本大会に出場される選手の皆様には、ご自宅を出発される前に大会に使用するシューズを洗っていただき、前回のレースなどで着いた汚れや泥などを落としてきていただくよう、お願いいたします。貴重な自然環境を守るためご理解とご協力をお願いします。

本大会コース上には  
貴重な環境資源が  
存在しています

美ヶ原トレイルランのコース上には、高山植物、野鳥、昆虫、そして、それらを育む雄大な自然環境が残っています。

過酷なレースの中で、これらの自然や景観は、疲れ切った身体と心を癒してくれることでしょう。

こうした自然を後世に受け継ぐために、負荷軽減、環境保護にご協力ください。

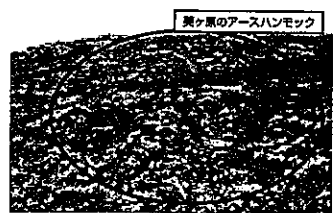
### 男女倉山（ゼブラ山）の 階状土

男女倉山（ゼブラ山）の南東側の斜面を遠くから見ると、横方向に走るスジのような模様が確認できます。近くへ行ってみると、裸地と植生地が交互に形成されています。これは「階状土」と言われるもので、数千年という長い年月に及ぶ凍結と融解の繰り返しで、できた地形で、山彦南北の耳にも存在します。



### 美ヶ原台上の アースハンモック

美ヶ原台上の茶臼山と塩くれ場の間には、直径1m、高さ20~30cmほどの土まんじゅうのような地形が点在します。これは「アースハンモック」と呼ばれ、やはり凍結融解作用により、地表面の砂や石がふるいにかけられるような作用の結果作り出される模様です。



### お願い

これら貴重な自然環境への負荷を軽減するため、選手の皆様には以下のことについて、ご理解とご協力をお願いします。

- 男女倉山（ゼブラ山）～大笹峰間、及び殿城～北の耳走行の際には、既存の登山ルートをはみ出さないようお気を付けください。
- 茶臼山～塩くれ場の間の道幅が狭いところでは、追い越したり横に広がったりせず、既存のルートからはみ出さないようご注意ください。
- ゴミの投げ捨て、植物・昆虫などの採取捕獲は絶対にしないでください。

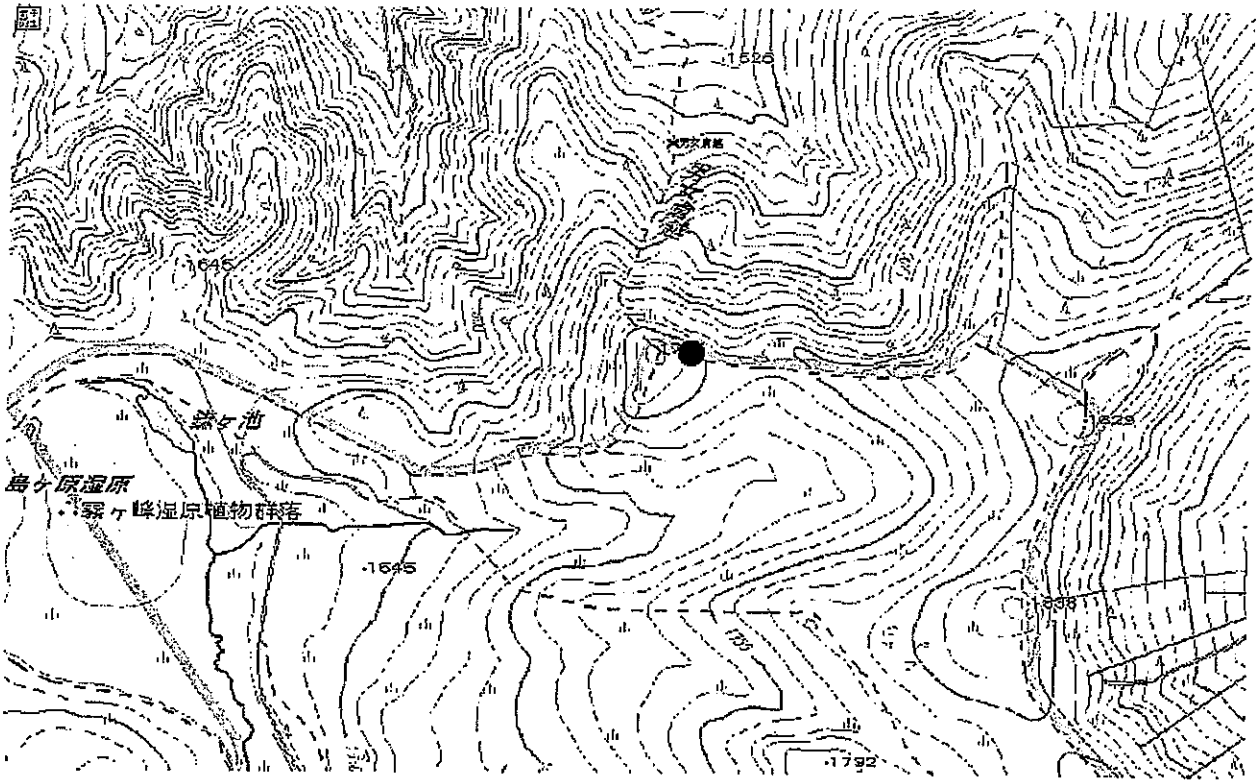
# 男女倉山（ゼブラ山）の階状土

平成25年8月28日



平成25年9月9日





男女倉山（ゼブラ山）山頂の東側約80mの地点で、定点観測を行いました。  
斜度がきつく道幅も狭まっている箇所ですが、はみ出し、踏み荒らし等はありませんでした。  
大会前に比べ表土が露出していますが、ランナーの影響に加え、大会直後に降った大雨の影響  
が強いものと考えています。  
周辺の階状土への影響もなかったものと認識しています。

# 美ヶ原のアースハンモック①

平成 25 年 8 月 29 日



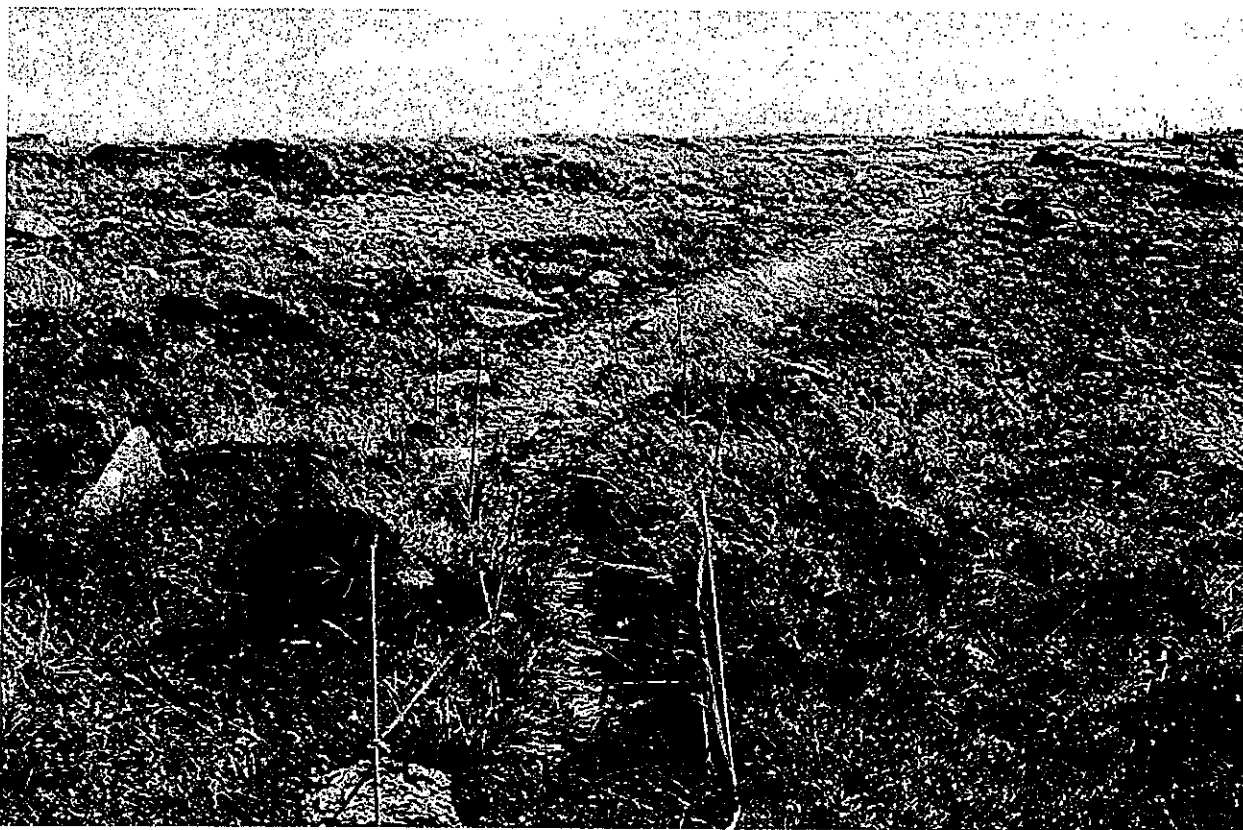
平成 25 年 9 月 6 日





## 美ヶ原のアースハンモック②

平成 25 年 8 月 29 日



平成 25 年 9 月 6 日



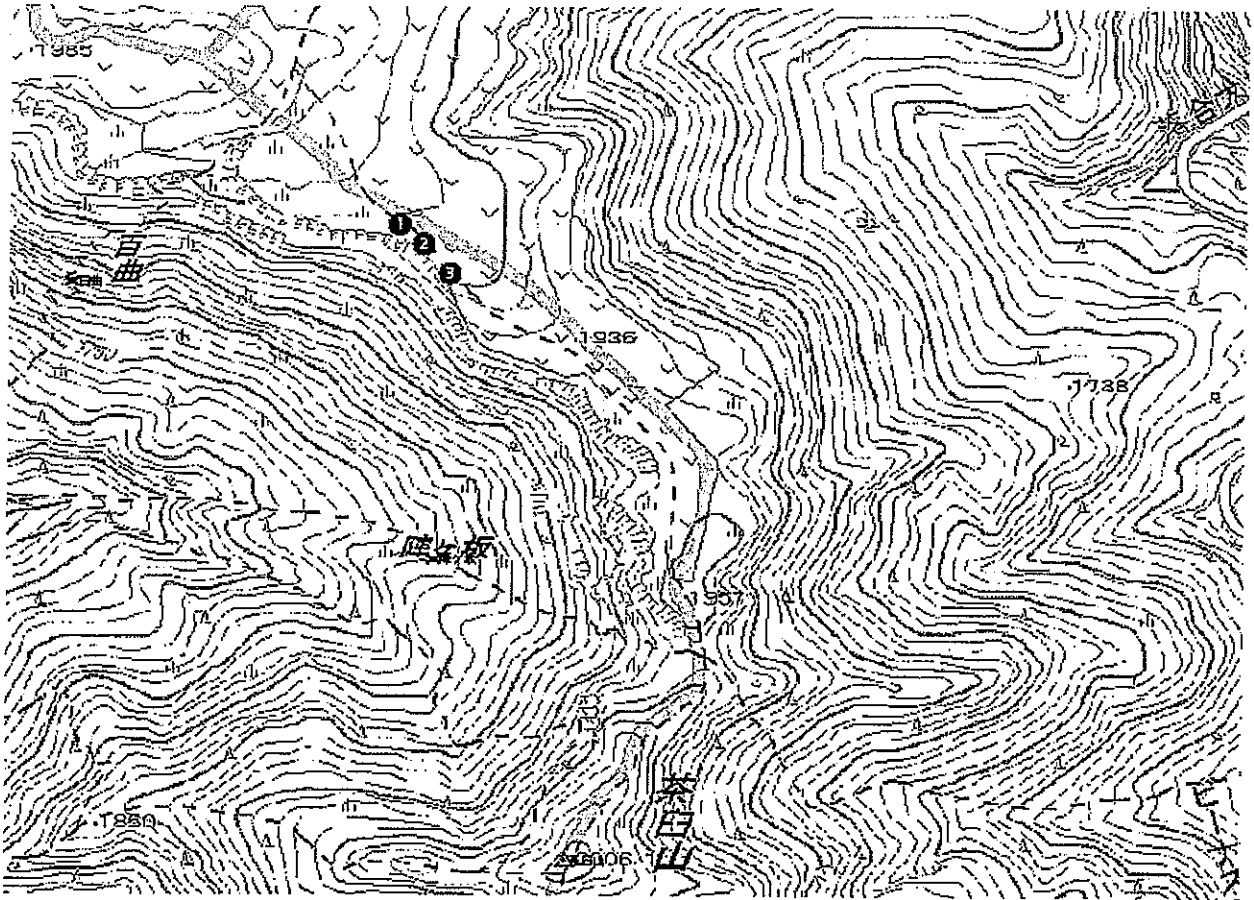
# 美ヶ原のアースハンモック③

平成 25 年 8 月 2 9 日



平成 25 年 9 月 6 日





県自然保護課及び環境保全研究所の指導のもと、美ヶ原牧場塩くれ場南側遊歩道より、茶臼山側へ約1000mの間で、環境資源内の歩道の幅が狭いと思われる箇所について、ダンポール約150本を使い資源保護、コース規制を行いました。

また、特に歩道の幅が狭い箇所3地点について、大会前後で定点観測を行いました。

その結果、歩道外へのはみ出しや踏み荒らしの跡は認められず、アースハンモックなど環境資源への影響は無かったものと思われます。

# 外来種侵入防止のためのマット敷設

